

岩手県立千厩病院の現状と課題

岩手県立千厩病院 下沖 収



県立千厩病院の病床数推移

1996年2月1日	一般病床190床で新築移転
2009年4月1日	一般病床150床（40床休床）
2010年4月1日	一般病床110床（40床休床）
2011年3月11日	東日本大震災 ⇒被災病院からの患者受入れ
2012年1月1日	一般病床160床（亜急性病床16床）
2013年7月1日	回復期リハビリ病棟40床開設
2015年4月1日	一般病床110床 + 回復リハ45床
2016年4月1日	？

+ 感染症病床4床

岩手県立千厩病院の現状

- 一関市 旧東磐井地区（約50,000）の中核的地域病院
- 常勤医師 6名（院長，理事を含む），職員数は約250名
- 稼働病床数 155床＋感染症病床 4床
- 一般病棟 110床（総合診療科，消化器内科，外科，整形外科）
- 回復期リハビリテーション病棟 45床
- 一般病院入院基本料 10：1，回復期リハビリテーション病棟 15：1
- 二次救急までの救急医療を担う（救急車受入数 1,000台/年）
- 透析医療 20床 約70名
- 病院機能評価3rdG 2014年6月認定（3度目）→2016年期中報告
- 協力型臨床研修病院，日本外科学会専門医修練施設，日本消化器外科学会専門医関連施設，日本プライマリケア学会認定研修施設

標榜診療科：14科

内科

神経内科

整形外科

産婦人科

リハビリテーション科

消化器内科

小児科

皮膚科

眼科

循環器内科

外科

泌尿器科

耳鼻咽喉科

麻酔科

下線：入院対応
黄色：常勤医師

常勤医師数

- 外科 3名
- 総合診療科 1名 + 理事1名
- 消化器科 1名

外来診療

1日平均 250.0人 (2015年4月～12月)

- 総合診療科 (毎日)
外来は、県立病院の名誉院長 3名も担当
- 外科 (毎日)
- 消化器科 (毎日)
- 整形外科 (週4回)
- 泌尿器科 (週3回)
- 循環器内科 (週2回)
- 耳鼻咽喉科 (週2回)
- 皮膚科 (週2回)
- 眼科 (週2回)
- 小児科 (週2回)
- 呼吸器科 (週1回)
- 神経内科 (週1回)
- 漢方外来 (月1回)
- 脳外科 (週1回)
- 産婦人科 (週1回)
- 乳腺外来 (隔週1回)



職員の体制（平成27年7月1日現在）

- 医師（常勤） 5名
- 看護部門 154名（うち(准)看護師128名）
- 薬剤部門 9名（薬剤師8名）
- 放射線部門 8名（診療放射線技師7名）
- 検査部門 10名（臨床検査技師9名）
- リハビリ部門 13名（理学7名，作業4名，言語1名）
- 栄養部門 15名（管理栄養士2名，調理師12名）
- 事務他 30名

総計245名

千厩病院の特徴（*The Essence of Senmaya Hp.*）

- 医師不足病院であっても断らない診療
⇒**総合診療科，外来・当直応援医師**
- 医師不足でも救急，透析医療の維持
- 求められる機能分化に対応
⇒**回復期リハビリ病棟，（地域包括ケア病棟）**
- 訪問診療，地域施設との連携
- 多数のボランティア
- 地域医療実習の受入れ
- 地域志向の病院

総合診療科

- 2009年度より開設
- 消化器内科以外の内科領域，高齢者医療を担当
- 高齢者は複数の疾患と生活上の問題を有する
- 総合的な視野で生活を見据えて診療できる能力が必要
- 外来担当の非常勤医は5名（名誉院長3名）
- 2016/1/13現在の入院患者 57名，**担当常勤医 1名** !?

救急車応需率

86.6% (953/1109)

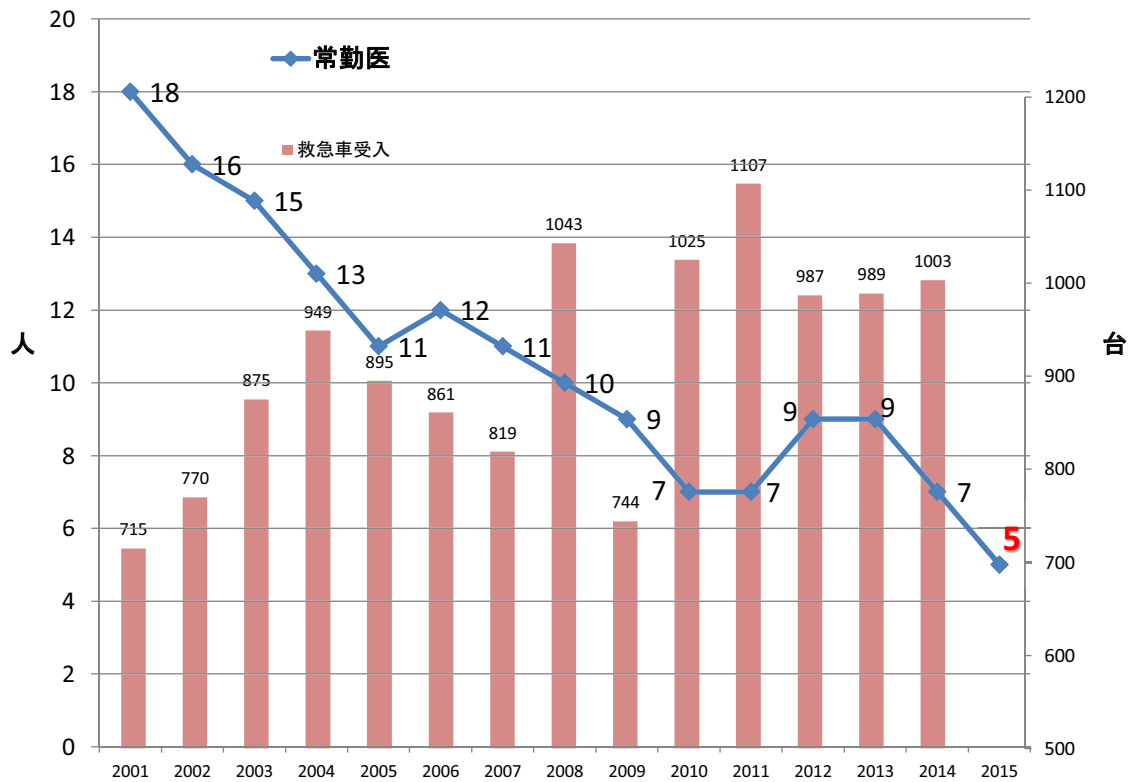
2014年度総計

88.0% (674/766)

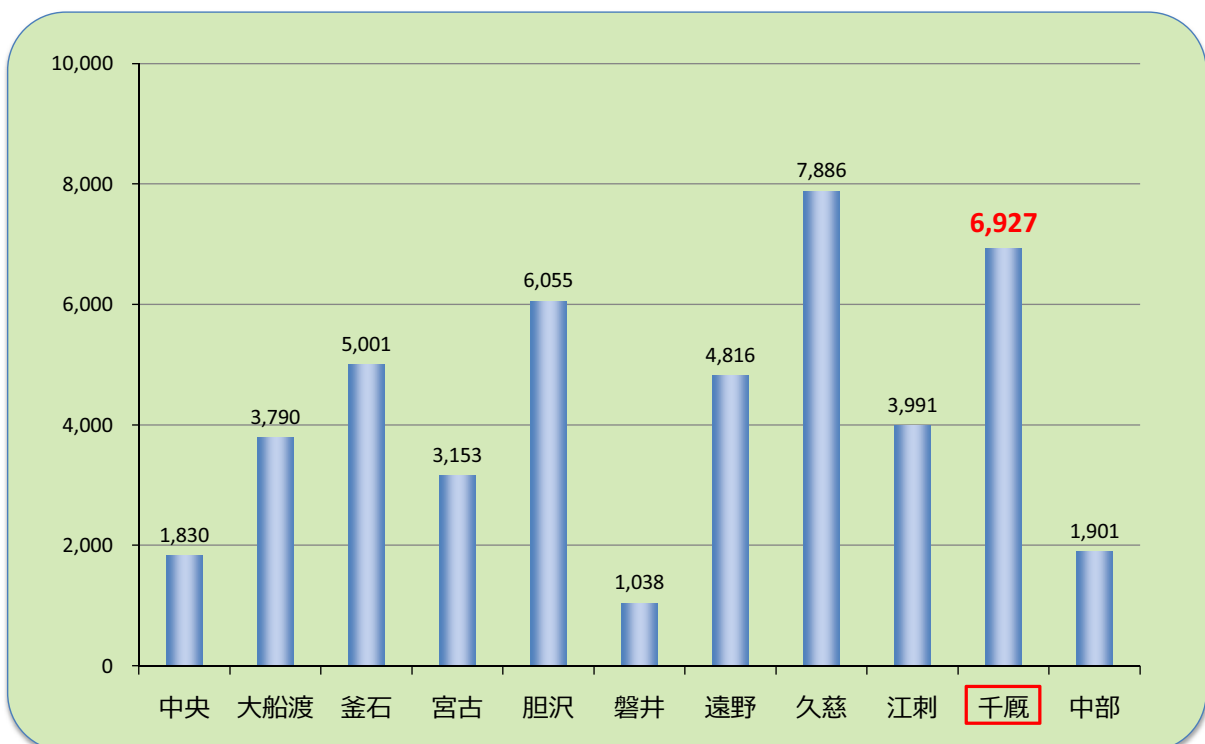
2015年4月～12月 累計

- 門前で断らない救急
- 同時に複数台受入れるのは困難
- 脳血管，心筋梗塞症例などで、基幹病院へお願いする場合
- 応援医師の専門分野によって，不得意な分野があるのは否めない
- 受け入れを断った症例は毎月の医局会で検証

千厩病院常勤医数の推移と救急車台数



透析延べ患者数 (2015年4月~11月累計)



回復期リハビリテーション病棟

- 急性期治療後の運動器，脳血管疾患の患者さんを中心にリハビリテーションを提供
- 2014年度は 240名（紹介143名）
- 2015年度は 45床で稼働
- 県立磐井病院，気仙沼市立病院からの紹介が多い
- 理学療法士，作業療法士，言語聴覚士 合計12名
- 学生実習も受入れ

	千 厩	全 国
1日平均単位数	3.1	6.1
FIM利得（点）	23.2	16.8
FIM効率（点）	0.45	0.40
在宅復帰率	86.80%	

2014年度実績



ボランティア（7団体）

地域の皆さんとの大切な架け橋

- 外来の総合案内，自動会計機案内を担当
- 院内アメニティーの向上
- 病院周り・中庭の花壇整備
- 入院患者さんの慰問
- 朝顔ランチの医局への提供
- 地域住民への啓発（寸劇・住民とのネットワーク構築）
- 院内バックヤードツアーをボランティア向けに開催



地域医療研修協力病院

- 初期研修医地域医療研修 2015年度

県立磐井病院；	1名	} 計15名
県立中央病院；	5名	
県立大船渡病院；	3名	
岐阜大学；	2名	
国際医療センター；	4名	

- 学生地域医療研修 2015年度

岩手医大；	1, 3, 5年生
自治医大；	5年生

地域医療を守るために 一意識・関心・対話一

住民の皆さん

- かかりつけ医をもつ
- 診療時間内に受診
- 夜間休日当番医の利用
- 救急受診前の電話
- お薬手帳の活用
- 健康増進, 検診受診
- 病院機能分担について理解
- 病院に関心を持つ

地域病院

- できるだけ断らない医療
- 接遇の改善
- 誤解を受けない対応
- 患者さん中心で考える
- 患者さん・住民の声を聴く
- いろいろな情報発信
- 地域に関心を持つ

**自分たちの病院
という意識**

**地域の皆さんの
病院 という意識**

地域医療を守るために ー機能分化ー

- まずは、地域病院を利用して下さい
- 各分野の専門医の診療も受けられます
- 一般的な検査や手術は問題なく対応
- 対応できなければ、紹介します
- 後方病院，リハビリ病院としての役割



数値で見る 「千厩病院の医師不足」

Indexes of Doctor Shortage

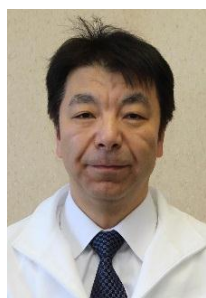
平成27年度12月1日現在の常勤医師数

平成27年度事業実績表 4月～12月の累計データ

※注意

- ✓ 非常勤医師（職員），研修医はカウントせず
- ✓ 正式な計算式ではない。あくまで目安であり非公式データ
- ✓ 外来部門のデータはなし
- ✓ それぞれの病院の特殊性は勘案せず

千厩病院常勤医師



外科(病院長)
下沖 収



理事(名誉院長)
鮎名 勉



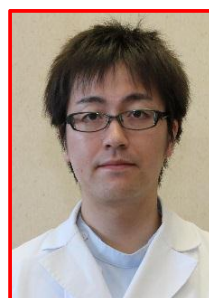
外科(副院長)
佐藤 一



消化器内科(副院長)
蒔 寿樹



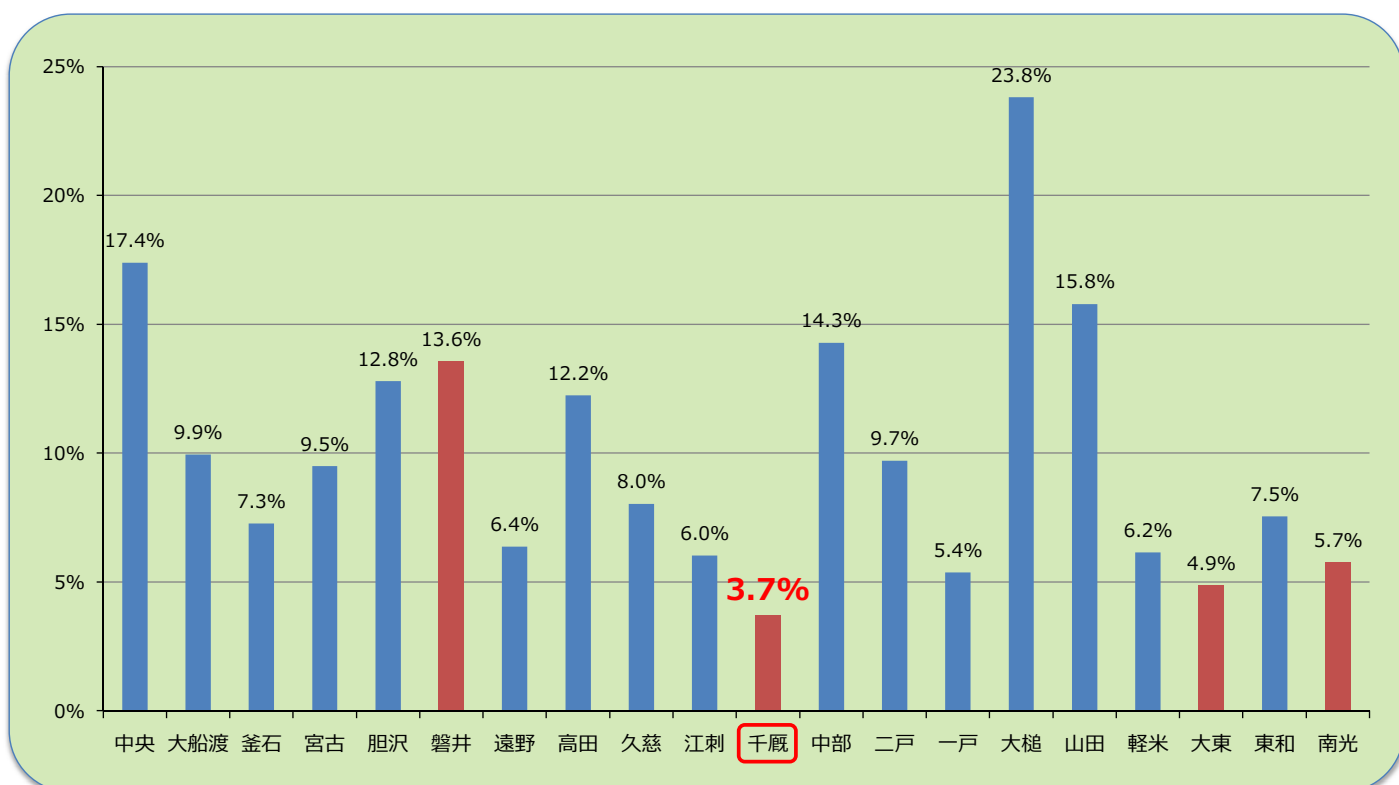
総合診療科
寺浦 寛之



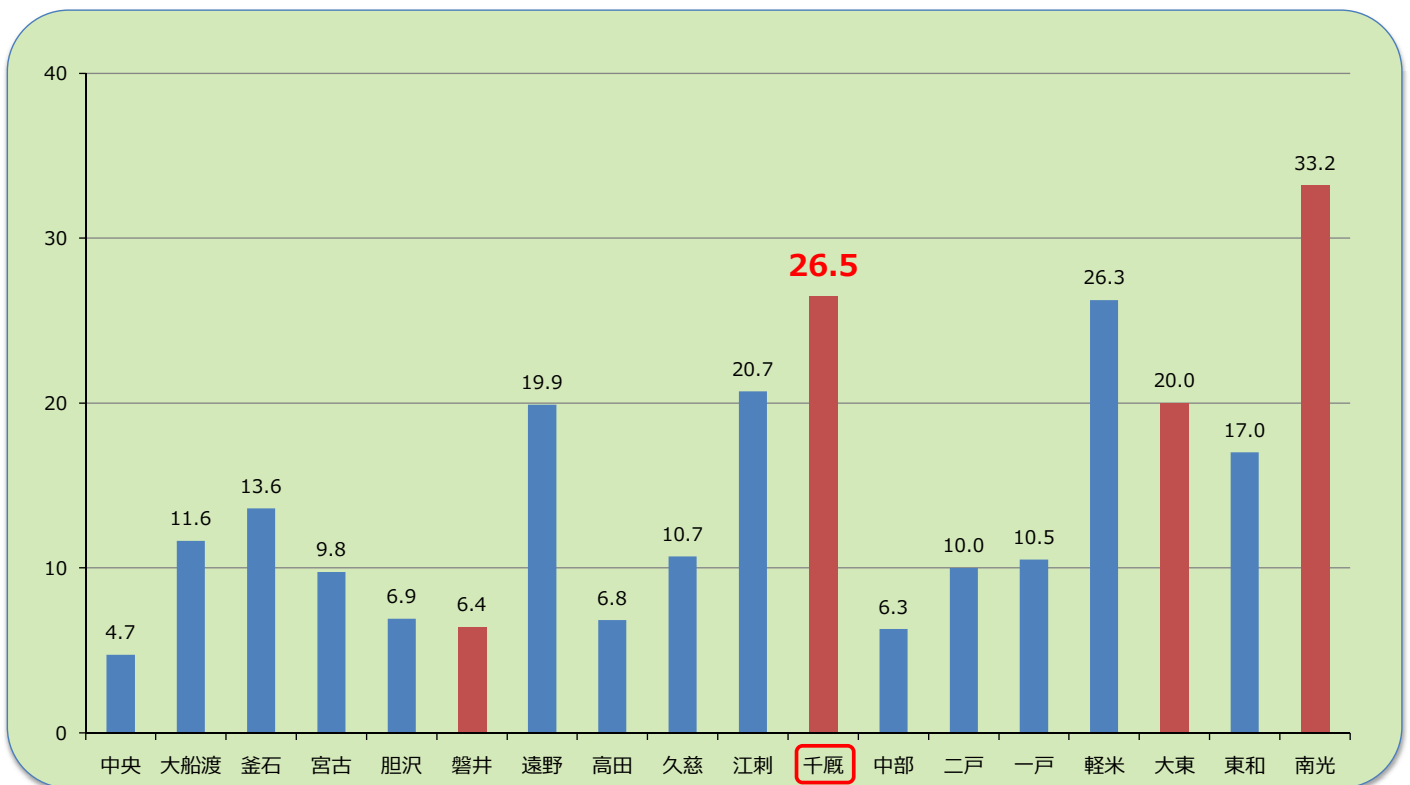
外科
斉藤 匠

Indexes of Doctor Shortage

正規職員数に対する常勤医数 (%)

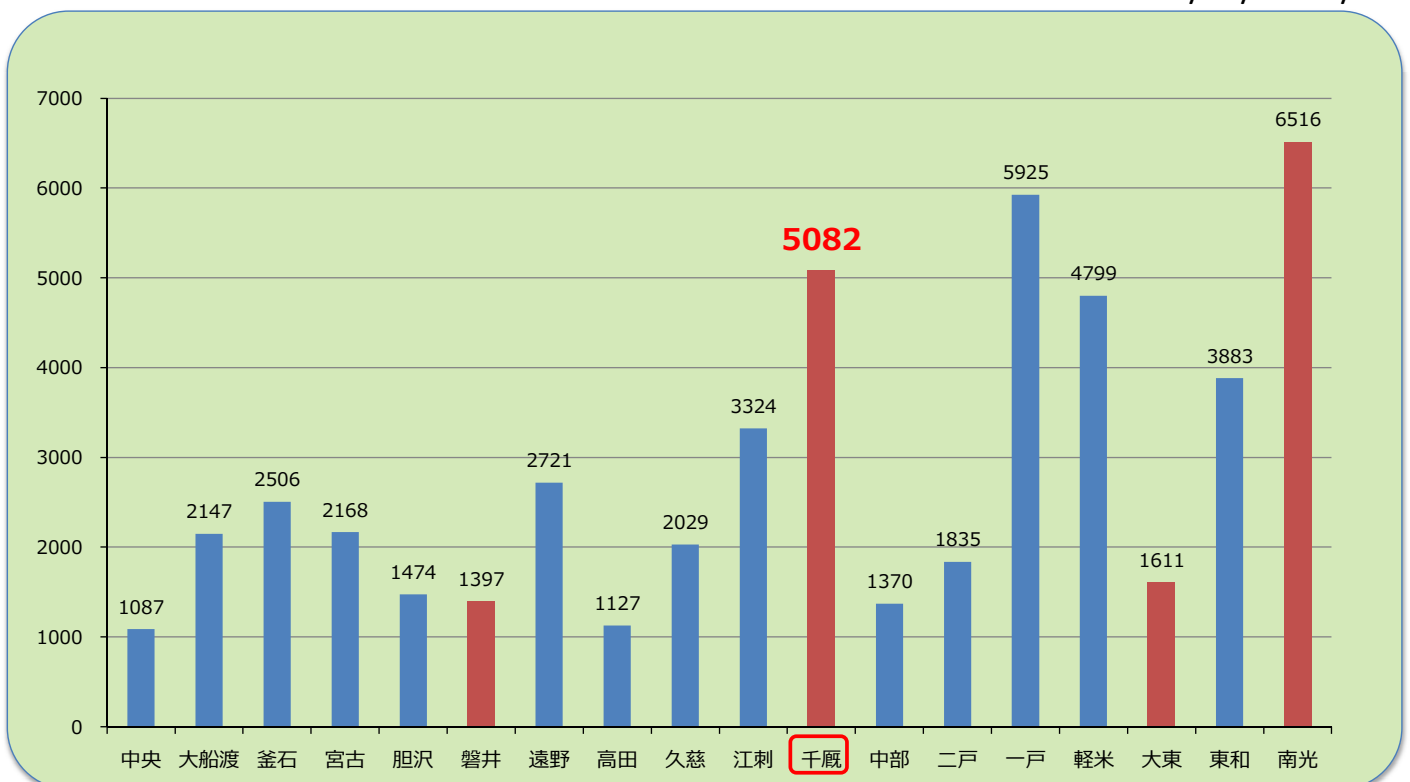


常勤医1人当たりの稼働病床数（床）



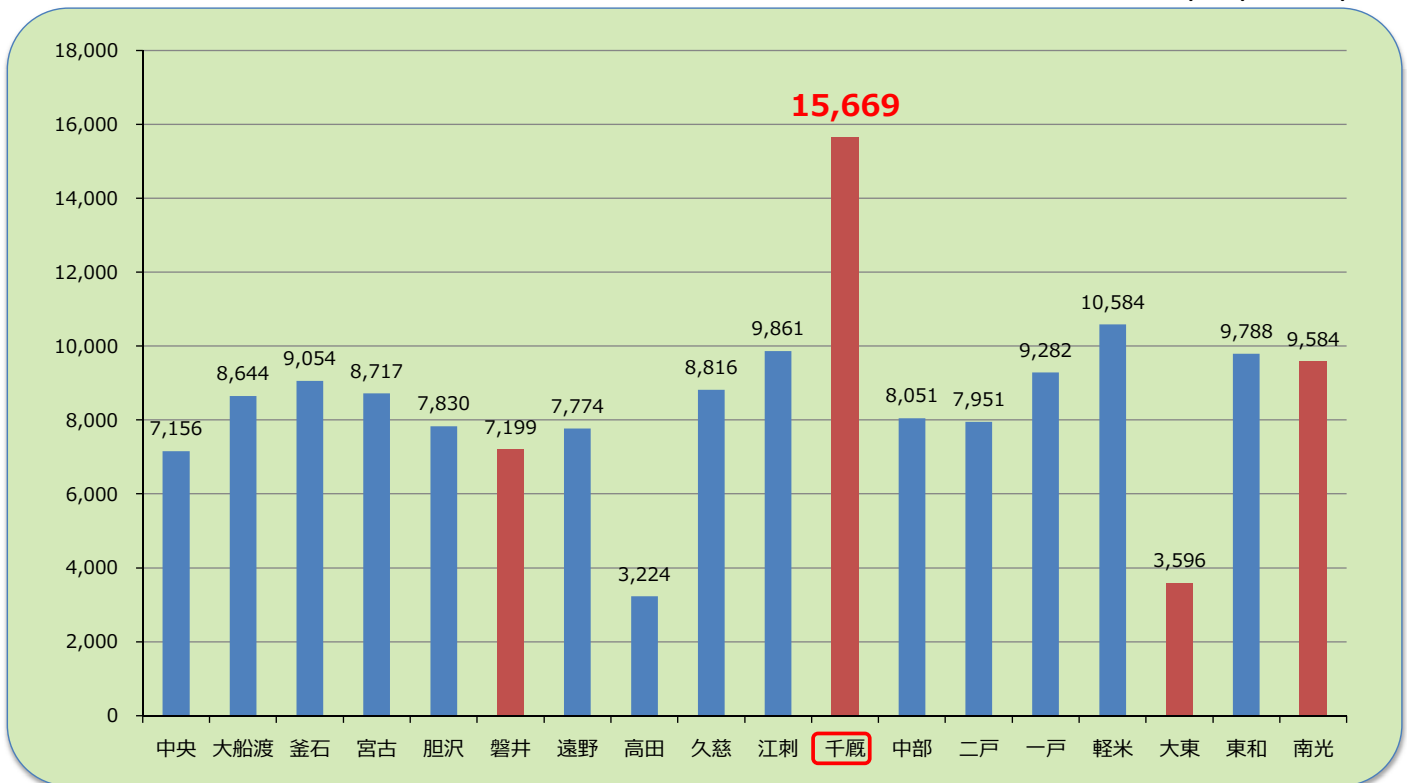
常勤医1人当たりの入院患者数（人）

2015/04/01-12/31



常勤医1人あたりの入院収益（万円）

2015/04/01-12/31



千厩病院の課題とこれから

- 常勤（非常勤）医師の増員・サポート，診療科の充実
- 救急医療体制の維持，透析医療の維持
- 回復期リハ病棟・リハビリ機能充実（スタッフ増員、質向上）
- 経営収支の改善（課題抽出と継続的取組み）
- 病院間連携，病診間連携
- ICT 導入による業務の効率化とサービス向上
- 保健,福祉,住民との連携強化 →地域包括ケアシステム
- 求められる機能分化への対応 →地域医療構想
- 地域医療を守るために，地域の皆さん，市，県と協働